

図書館だより

藤女子大学



Fuji Women's
University Library

新入生歓迎 特集号

出会い

藤女子大学学長
喜田 勲



あれは、大学1年次が終わる春休み、友と古都京都に散在する寺院の石庭を巡っていた。南禅寺金地院「鶴亀の庭」を鑑賞した後、鬱蒼と茂った杉木立のなかに入り、レンガ造りの上水道に流れる水の音にかき消されないように、思い切って心の内を彼に明かした。長い沈黙が続き、おもむろに彼は、「お前がそう思うなら、そうすればいい。ただ、お前は長男だし、古くから続く家系が途絶え、親は苦しむよ」と言った。彼の言葉は、暗闇に喘いでいる私の背中を押し、前に進む勇気を奮い起こさせた。現在、イエズス会員として、また、司祭・神父として修道の道を歩み得ているのは、一つに、彼がその道への懸け橋になってくれたからだ。

案の定、勤当の身となり、大学3年次から休学して広島のエズス会修道院に籠り、3年間、祈りの生活に潜心する日々を送った。そんな或る秋の日、不思議な体験をした。それは、「宇宙が、全存在が、人が、この私が、大いなるお方の命の中にあり、大いなるお方がこのちっぽけな私の心の中心におられる」という体験だ。

この体験を機に、「知る」ということは何か、私の心はそれに囚われた。「知るとは何か」を「知る」という難問は、大学復学後の哲学・神学修士課程でも、また、哲学博士課程でのスコラ哲学・ドイツ哲学を修めている時でも付きまとい、最大の関心事であった。しかし、「知る」とは何かの答えを探しあぐね、知的地平は闇の中にあり、葛藤の日々が続いていた。そんな時、同じイエズス会員のPerez Valera教授の薦めで、Bernard Lonergan著「Insight : A Study of Human Understanding」を手にし、十年余りの指導も受け、遂に「知る」とは何かを体得し得た。また、人として、知的地平（自己）には認識の領域（認識者）と実践の領域（行為者）があり、そして、その一貫性・統一性の構造を会得し得たのは、留学先のトロント大学大学院でKarl Marxの著作と出会い、手懸りを得たからだ。Marxの研究を勧め、その講義を担当していたI.M. Zeitlin教授を紹介されたのは、当時、「日本の近代化」を解明するため比較近代論を教えて下さっていた上智大学国際関係研究所所長の鶴見和子教授だった。

こうした人と書物との出会いによって、徐々に知的土壌が醸成され、十数年前から研究している江戸中期の思想家で、日本近代化の精神的源流と位置づけられる「石田梅岩」（1685～1744年、京都亀山藩農家に生まれ、後に京都の商人）にも出会えた。その著作「都鄙問答」等を熟読して、石田梅岩も「心を知る」過程で「知る」とは何かを知り得た稀有な哲学者・教育者であると分かった。また、「都鄙問答」の引用・参考文献には膨大な数の書物が使用され、日本文化の一つの開花時期ではあるが、「京」の本屋に種々の書物がならび、いとも簡単に入手し得たのは、少々驚きであった。

CONTENTS

1. 出会い 喜田 勲
2. 大学祭特別展示「洋画家 木村 捷司氏」
4. 展示紹介 学生による企画展示
5. 新入生はこれを読め?
6. 心理学をたのしむ 青木 直子
7. 図書館委員会からのお知らせ
7. 抜書きシュマウス文庫頼末記
7. 2011 年度図書館のあたらしい動き
8. 図書館員のオススメ本 第12回

No.83

2012.4

大学祭特別展示「洋画家 木村捷司氏」



「修道女牧野キク」(1990年)

Sr.M.ヘレナ・牧野キク

戦中・戦後と続いた国家的一大事の中、学園を守り抜かれ、1996年に101歳で亡くられました。



北16条キャンパス3階講堂前



「修道女クサヴェラ・レーメ」
(1983年)

Sr.M.クサヴェラ・カタリナ・レーメ

ドイツから「二度と帰ることはない」との覚悟をもって日本に渡り、なにもない状態から藤学園を立ち上げ、その生涯を北海道の女子教育に捧げられました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学式の会場である北16条キャンパス講堂前に、2枚の肖像画があるのをご存知ですか？

向かって左側がSr.M.ヘレナ・牧野キクの肖像画、右側がSr.M.クサヴェラ・カタリナ・レーメ、ともに藤学園の創設に深く寄与されたシスターです。この2枚の肖像画は、函館出身の洋画家、木村捷司画伯（1905-1991）によって描かれたものです。

2011年6月、文化総合学科榎瀧教授が函館に出張授業に行かれた際、近隣高校の美術教諭の方に「オススメの美術館」を聞いたところ、七飯町にある「木村捷司記念室」を勧められました。榎瀧先生は七飯町まで足を運び、実際に記念室にて絵画を鑑賞されました。展示されている絵画の数々から、木村画伯の具象画家としての素晴らしい力量を感じられたそうです。その感想を交えて記念室の方とお



展示の様子

話しされたときに、本学と木村画伯の関係が話題に上ったこともあり、榎瀧教授より図書館に特別展示開催の依頼がありました。その後特別展示に向けた準備をすすめ、10月の藤陽祭において、「洋画家 木村捷司氏」と題して特別展示を行いました。今回は展示の内容から抜粋して、木村捷司画伯について、また藤女子大学で所蔵している絵画についてなどをご紹介します。

木村捷司画伯は1905年（明治38年）に函館に生まれ、4歳のときに父の仕事の関係で樺太に移住します。中学卒業後樺太を離れ、1923年（大正12年）に医師の道を志し北海道大学予科医類に入学します。この頃、ゲーテやハイネ、ドストエフスキーなどの文学作品や、ゴッホをはじめとする美術の世界に傾倒し、次第に美校転向への思いを強めていきます。やがて1927年（昭和2年）に東京美術学校へ入学して西洋画を学び、1931年（昭和6年）、卒業と同時に女学校の美術教師として函館に戻ります。

しかし、勤務先の女学校が函館大火により焼失し、廃校になってしまったことから、1938年（昭和13年）、第二の故郷ともよべる樺太へと旅に出ます。樺太への取材旅行は、「なんということなしにひきずりこまれ」るようにはじまり、8年間にわたって続けられました。その間、樺太最北の町シスカなどの地で、北方少数民族の人びとと生活を共にしながら、彼らを描き続けました。1945年（昭和20年）4月に待命招集を受け函館に帰還、更にもその4カ月後に終

戦を迎え、樺太への旅は終わりを告げたのです。

戦後に入り、氏は生まれ故郷の郊外の七飯町に自宅兼アトリエを構えました。

北方少数民族の人びとにかかわって目を向けたのは、函館を築き上げた明治の開拓者たち、そして文化人の晩年の姿でした。函館公会堂の建築資金を全額寄付するなど函館の街並みに今もその事業のあとを残す「初代 相馬哲平翁」（1964年）、自費を投じて現在の市立函館図書館の基礎を築いた「岡田図書裡先生」（1964年）、石川啄木の義兄で詩人の「宮崎郁雨」（1958年）など、次々と肖像を描きました。

また、木村氏の関心は過去へと遡り、トラピスト修道院の開拓の難行に思いをはせ、「ジェラルド・プーリエ修院長」（1968年）、「ヴィタール・ルオデ修院長」（1977年）を完成させます。木村氏がトラピストの創設者たちを描いたとき、彼らはすでにこの世の人ではありませんでした。氏は、残された数枚の写真、そして人々の印象を手がかりとして肖像画を描きました。

木村氏は、依頼されて肖像画を描くこともあれば、特定の人物の生涯に強い感銘を受けて自ら筆を取ることも多かったといいます。氏は、自らが描いた人びとについて、「それぞれ顔は違うけれども、エネルギーで気骨のある、そういう顔をしている。」と述べています。

藤女子大学では、木村捷司画伯による肖像画を3点所蔵しています。冒頭に紹介した2枚のうち、「修道女 クサヴェラ・レーメ」は「木村捷司画集」に収載されており、ご本人による解説も付されています。解説では、クサヴェラ・レーメの生涯を紹介した後、“その素晴らしい修道奉仕の一生は強い感動を与える。肖像はSr.レーメの70才頃、服装も当時の様式である。私自身のために描いたのだが、制作が終わった時には私蔵する気持がなくなった。”と記されています。

また、家族ぐるみで親交があったという、宇野親美先生（本学元教授）の肖像画も藤学園に所蔵されています。「木村捷司画集」の自筆年譜には、若い頃のこんなエピソードが紹介されています。北大予科医類に進学しつつも、日々美術への思いを募らせていたときのことです。木村画伯の父・松太郎氏の意を受けて、宇野先生は「基礎医学は面白いものだ。」という手紙を木村氏に出しました。しかし同時に、新着の高価なゴッホとスザンヌの画集を黙って目の前に置いたそうです。宇野先生から受けた影響について、氏は自筆年譜の中で“私は先生によって人生のあり方や読書の大切さについて開眼され、それが危機を処する支えとなってきたことを忘れない。”と記しています。



宇野親美先生肖像画

北海道開拓記念館の壁画「開拓」完成と前後し、木村氏の興味は中東やエジプトの辺境の風景にうつっていき、この頃より毎年のように海外への取材旅行を行うようになり、それは、1991年に亡くなる年まで続けられました。

氏は、人の無い風景は意味がなく、「雑踏よりも荒涼たるところに置かれた人間、荒涼さを感じさせる人間に興味がある。」と語っています。

木村氏の絵画には、辺境に生きる人々、辺境を切り拓こうとする人々に対する深い共感があることを感じます。氏の遠方志向、辺境志向の根底にあるもののひとつは、幼いころに暮した樺太の漁場の情景の記憶ではないでしょうか。厳しい自然の中でたくましく生きる人間に対するあたたかい眼差しも、そこに源があるのかもしれない。

1993年（平成5年）、木村捷司画伯のアトリエ兼自宅のあった七飯町に、「木村捷司記念室」が創設されました。現在もご家族の手によって運営されており、ゆったりとした雰囲気の中で絵画を鑑賞することができます。今回の展示では資料提供等のご協力をいただきましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、次男の裕行氏は工芸作家として活躍しておられ、花川キャンパスのチャペルなどにスタンドグラス作品が埋め込まれています。機会があればぜひ鑑賞してみてください。

木村捷司記念室

七飯町字鳴川1102

4月～11月の日曜日のみ開館。11時～17時。入場料500円（高校生以下無料）。

木村捷司画伯に関する本

『木村捷司画集』 本館所蔵 723.1 / K139

『木村捷司展：人と自然：その内奥を見つめて』 本館所蔵 723.1 / K139

藤学園の歴史を知るための本

『記念誌藤女子短期大学50年藤女子大学40年』 両館所蔵 377 / F57

『卒業五十周年記念誌：藤女子専門学校生活科一期生』

両館所蔵 377 / F57



展示紹介

学生による企画展示



図書館では、オススメの本を展示してくださる方を募集しています。2011年、展示をしてくれた方に、その中でも特にこの1冊というものを紹介していただきました。そして、「読んで欲しい」というオススメ本をおもちの方は、企画展示にぜひご参加ください。

『ザ・ビートルズ・サウンド 最後の真実』

ジェフ・エメリック、ハワード・マッセイ著 / 奥田祐士訳 請求記号：767 / B42e
英語文化学科3年 若木さん

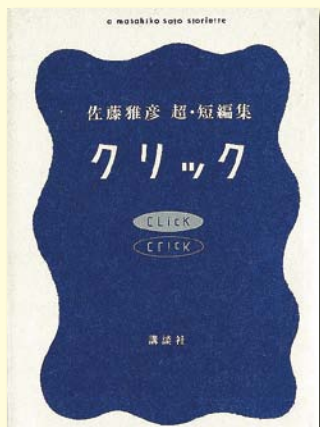


近年、リマスター版CDの発売やiTunesでの楽曲発売解禁で話題となったビートルズ。このブームで彼らの魅力に気づいた私が関連書籍を探していた時に出会ったのがこの作品でした。ビートルズ担当のサウンド・エンジニアに19歳の若さで抜擢された著者によるこの本は、若者のサクセスストーリーとして抜群に面白く、ビートルズ中期から後期における楽曲の制作秘話や、裏方(傍観者)の視点からの4人のメンバーへの言及も真に迫っています。

- 『バームサンデー：自伝的コラージュ』カート・ヴォネガット/飛田茂雄訳 A934.5 / V89
- 『スローターハウス5』カート・ヴォネガット・ジュニア/伊藤典夫訳 A933.5 / V89
- 『国のない男』カート・ヴォネガット/金原瑞人訳 A934.5 / V89
- 『腕(プラ)一本巴里の横顔』藤田嗣治エッセイ選藤田嗣治 914.6 / F67
- 『Leonard Foujita』佐藤幸宏 723.1 / F67
- 『ナボコフ自伝：記憶よ、語れ』ウラジーミル・ナボコフ/大津栄一郎訳 A933.5 / N11
- 『賜物』ウラジーミル・ナボコフ/沼野充義訳 908 / Se22k: 1 / 10
- 『イランの少女マルジ』マルジャン・サトラビ/園田恵子訳 289.2 / Sa87 / 1
- 『マルジ、故郷に帰る』マルジャン・サトラビ/園田恵子訳 289.2 / Sa87 / 2
- DVD『Persepolis』e/DV/1554

『クリック』 佐藤雅彦

請求記号：049 / Sa87
文化総合学科4年 和田さん



私が特別展示の企画に参加しようと思ったとき、一番紹介したかった本がこの『クリック』です。この本は、本のタイトル通りに、読んでいて頭のどこかでカチッ(click)と音が聞こえるほど、はっとする作品ばかりです。1、2ページという短い作品なのに、可愛い・楽しい・なるほど・面白いなど、読んでいて飽きのこない、また何度でも読

み返したくなる作品ばかりです。特に、文字だけで視覚的に表現する「冷蔵庫の扉」や「父兄参観日」などの作品はぜひ見てほしいです。

- 『プチ哲学』佐藤雅彦 159 / Sa87
- 『現代広告の読み方』佐野山寛太 674 / Sa66
- 『経済ってそういうことだったのか会議』佐藤雅彦、竹中平蔵 330 / Sa87
- 『砂浜』佐藤雅彦 913.6 / Sa87
- 『Designing design=デザインのデザイン：special edition』原研哉 757 / H31
- 『みんなCM音楽を歌っていた：大森昭男ともうひとつのJ-pop』田家秀樹 674 / Ta58
- 『日本の雑誌広告=Magazine advertisement in Japan.80s』674 / N71
- 『毎月新聞』佐藤雅彦 914.6 / Sa87
- 『知的で、イキで、お洒落な世界の広告たち』金子秀之 674 / Ka53
- 『差分=Difference』佐藤雅彦 141.2 / Sa11
- 『ピタゴラ装置DVDブック』1-2 ♣507 / P69 / 1-2

『近代家族の成立と終焉』 上野千鶴子

請求記号：361 / U45(両館所蔵)
人間生活学研究科 修士2年 三住さん

「家族が家族であるための条件は何か」について書かれています。高校生の頃から「家族」とは何かと考えるのが好きでした。今も、親子関係や兄弟姉妹についてよく考えています。この本からは、近代家族の形成過程や戦後の高度経済成長期にみられる家族の変容と女性の文化受容のあり方などを参考にし、日々家族について考えています。



- 『大人の友情』河合隼雄 150 / Ka93
- 『オウム：なぜ宗教はテロリズムを生んだのか』島田裕巳 169 / Sh36
- 『錦繡』宮本輝 913.6 / Mi77
- 『なんくるない』よしもとばなな 913.6 / Y91
- 『より道わき道散歩』河合隼雄 ♣914.6 / Ka93

※皆さんの学年は展示当時のものです。

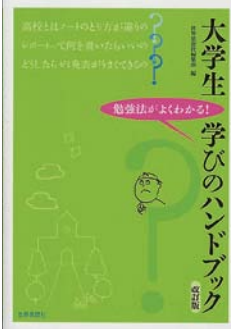
※♣は花川館所蔵です。

■ 新入生はこれを読め? ■

大学生になると、あなた自身の選択に任される事柄が多くなります。自由に選べるということは、その責任も自分が負うということです。4年間のうちの1年目は、これからの生活リズムをつくる大事な年です。藤女子大学図書館にある、大学生活をスムーズにするためのガイド本をご紹介します。

『大学生学びのハンドブック：勉強法がよくわかる!』

大学生の勉強のしかた



請求記号：377 / Se22(両館所蔵)



まずはこれ！ 授業のノートの取り方、本の読み方、図書館の使い方、高校とは勉強の仕方が変わります。イラストを交えて分かりやすく説明してくれる。自分のために買って損はない1冊です。

同じジャンルのオススメの本
『知のツールボックス』

✳️377 / Se73
『フレッシュマンセミナーテキスト』 ✳️377.9 / Sh96
『よくわかるライフデザイン入門』 ✳️377 / D16
『大学生のための知的勉強術』 377 / Ma84
『大学生になる前に知っておきたいこと』 ✳️377.9 / Se22

うまく人づきあいがしたい

私だけ？ 人づきあいが苦手で、不安や悩みを抱えているのは、アナタだけではありません。大学生が経験しやすいさまざまな人間関係・トラブルに対応するスキルを紹介します。



『大学生のためのソーシャルスキル』



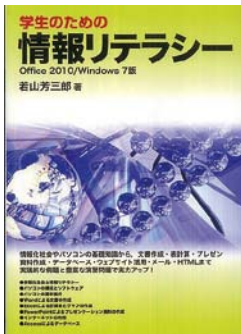
請求記号：377.9 / H38(両館所蔵)

同じジャンルのオススメの本
『大学生の友人関係論』

✳️377.9 / Y92
『大学では教えてくれない大学生のための22の大切なコト』 ✳️377.9 / Sa87
『大学生のための「社会常識」講座』 377.9 / Ma84

パソコンに強くなるには

『学生のための情報リテラシー』



請求記号：007.6 / W28(両館所蔵)



情報処理の技術をもたなければ、必要な情報は得られません。さらには就職にも影響します。

レポート、卒業論文を書くためにも、「情報処理」の授業を取っておきましょう。

同じジャンルのオススメの本
『学生に役立つWord & Excel & PowerPoint』

007.63 / F67
『これだけは知っておきたい情報リテラシー』 ✳️007.6 / O69
『情報リテラシー教科書』 ✳️007.6 / J73

卒業後はどうしよう

あなたは将来どんな大人でいたい？ 就職、進学等、どの道に進むにも準備が必要です。「何にこだわって生きていく?」「何を身につけよう?」など、卒業後のことも今から考えておく必要があります。



『学生のためのキャリアデザイン入門』



請求記号：377.9 / W46(両館所蔵)

同じジャンルのオススメの本
『学生のためのキャリアデザイン読本』

377.9 / G16
『キャリアデザイン入門』 ✳️377.9 / Ki24
『キャリアデザイン概論』 377.9 / Ky1
『夢をかなえるキャリアデザイン』 377.9 / Ta59

※✳️は花川館所蔵です。



心理学をたのしむ

保育学科 青木 直子

入学・進級おめでとうございます。新年度の時間割は、もう決まりましたか？シラバスの中に「〇〇心理学」という講義名を見つけて、興味を持った人もいるかもしれません。

心理学は、人間の認知・感情・行動などを扱う学問です。たとえば、「電車の座席に座るとき、すでに座っている人の隣に詰めて座るのではなく、隣の人との間に1つ座席を空けて座った」「だらだら作業していたが、ごほうびがあると知ってすばやく作業を終えられた」といった経験のある人は多いのではないのでしょうか。また、この時期は「相手が自分と同じ歌手のファンだと知って、急激に仲良くなった」というような経験をした人も多いと思います。こういったことがらはいずれも、心理学の研究テーマになっています。つまり、心理学というのは、私たち自身のことを扱うとても身近な学問なのです。

このように、心理学ではさまざまなことがらを研究の対象としています。その中でも人と人とのつながりに興味のある人は『セレクション社会心理学（サイエンス社）』がおすすめです。このシリーズは、1冊ごとに「見せる自分/見せない自分」「集団行動の心理学」「人づきあいの技術」などのテーマに沿って、人間が他者と関わる際の行動などが解説されています。また、このシリーズに加えて、海外の研究論文をまとめた『対人社会心理学重要研究集（誠信書房）』を読むと、研究のおもしろさをより感じられるのではないかと思います。

すでに、教職課程などで教育心理学を受講し、条件づけ・記憶などに興味を持った人には『グラフィック学習心理学（サイエンス社）』がおすすめ

です。たくさんの実験例が紹介されており、人間が学ぶということをさらに深く理解できると思います。

子どものことに関心があるという人には『よくわかる乳幼児心理学（ミネルヴァ書房）』や雑誌『発達（ミネルヴァ書房）』がおすすめです。『よくわかる乳幼児心理学』は1つのトピックが見開き1ページにまとめられており、どこからでも読みやすい本です。『発達』は、号ごとに「子どもの遊びと発達」「赤ちゃんの見る・聞くの発達」などの特集が組まれており、1冊読めばそのテーマの概要と最新の研究結果を知ることができるようになっています。

大学生活を通して、みなさんが少しでも心理学に興味を持ってくれたらうれしいです。ちなみに、心理学関連の本の請求記号は、140と361、376.11番台が中心となっています。図書館で心理学の本を探すときは、この3つの棚をチェックしてみてくださいね。



『他者と比べる自分』高田利武 *361 / Se81 / 3

『チームワークの心理学』山口裕幸 *361 / Se81 / 24

『グラフィック学習心理学 行動と認知』山内光哉/春木豊 *141.3 / Y46

『対人社会心理学重要研究集』齋藤勇編 *361 / Sa25 / 1 - 5

『よくわかる乳幼児心理学』内田伸子編 *376.11 / U14

『発達』 *28巻111号2007年

*は花川館所蔵です。

図書館委員会からのお知らせ

「図書館だより」前号で、2011年度図書館委員会として実行すべき課題9項目についてお知らせいたしました。この中から「シュマウス文庫の整理」についてお知らせします。

抜書きシュマウス文庫顛末記

シュマウス先生って？

Dr. Michael Schmaus (1897-1993) は、教義神学専攻の神学博士 (1924)。多くの大学で講じた後にミュンヘン大学総長を経て、同大学グラウプマン研究所を主宰し学界に多大な影響を与えたと言う。何度か来日して、京大、上智大等で講演された。しかし札幌を訪れる機会はなかったと言う。

経緯 (概要)

昭和36年4月、藤女子短期大学は4年制大学への設置を目指し準備を進めていた。しかし文部省 (当時) が定める設置基準の洋書冊数が不足していた。フランスコ会修道女達から援助を依頼されたシュマウス博士は、ドイツの信者達に呼びかけご自分の蔵書も含め集まった3千冊余りの図書を木箱に詰め日本に向け送り出した。

昭和35年8月 小樽税関に寄贈図書到着

9月 藤女子大学設置申請書を文部省に提出

昭和42年 新図書館竣工 文庫は書庫内に配架される

昭和47年 文部省の大学施設・設備監査で外国語図書数の不足が問題視されそうな際、第4代藤村図書館長が整理中の寄贈図書を紹介、事なきを得る。

昭和56年 第6代家郷図書館長が整理方針を示す

昭和58年 本学蔵書として登録される その数3千冊

(この間多くの教職員の手を経て、補修、大分類、仮整理が行われた)

そして今後

2011年第2回図書館委員会 (10月25日開催) で選書方針が協議され、第3回図書館委員会 (11月28日開催) で承認された。その後「シュマウス文庫選書方針」として学長の決済をいただき、今後この方針に基づき選書、整理が進められる。

* 落合文書、家郷文書、鈴木文書を参考にさせていただきました。

†EX LIBRIS†



MICHAEL SCHMAUS

シュマウス先生の蔵書票

濃いセピアの版画で、中央にアルファ・オメガの2文字、上下左右に天地創造を配した図柄。黙示録と創世記から、神と神のわざをしめすものと言う。

❖ ❖ ❖ 2011年度図書館のあたらしい動き ❖ ❖ ❖

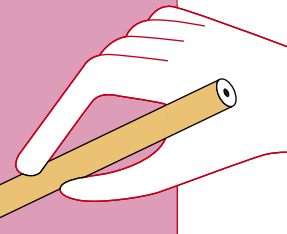
- 2011年4月
- ・「Literature Online」というデータベースが利用できるようになりました。英語・英米文学研究に有用なデータベースです。
 - ・ペットボトルなど、蓋付きの飲み物に限り館内持ち込み可能になりました。(試行) 蓋ができない缶や紙パックジュース、食事は今まで通り禁止です。
- 2011年6月
- ・OPAC (オンライン蔵書検索) から、購入希望ができるようになりました。利用方法は、カウンターの係にお問い合わせください。
- 2011年10月
- ・「日本文学WEB図書館」というデータベースが利用できるようになりました。今後アップデートが予定されていますが、現在は「国歌大観」及び「私家集大成」の内容を同時に検索することができます。



「ミステリ」という言葉を聞いて、どういうイメージを抱きますか？ミステリとは、江戸川乱歩の言葉を借りると「主として犯罪に関する難解な秘密が、論理的に、徐々に解かれていく経路のおもしろさを主眼とする文学」のことだそうです。今回は、今までミステリを読んだことがない、という人にもオススメな本を何冊か選んでみました。ただストーリーを追うだけでは得られない読書の楽しみを味わってみませんか？

図書館員の オススメ本

第12回



「姑獲鳥(うぶめ)の夏」

京極夏彦

所蔵館：本館
請求記号：913.6 / Ky5

毎回タイトルに妖怪の名前を冠する人気シリーズの第一弾。京極堂と周囲から呼ばれている古本屋の無口な主人、中禅寺秋彦。「この世には不思議なことなど何もないのだよ」と豪語する京極堂が、憑物落としという手法をもって奇怪な事件を解決します。分厚い本ですが、中盤からは一気に読めますし、一作一作に読み応えがあります。



「詳注版シャーロック・ホームズ全集」

コナン・ドイル

所蔵館：本館
請求記号：933.9 / D89 / 1-10

探偵モノの金字塔。読んだことはなくても、タイトルは誰でも知っていますよね。探偵ホームズと、人が良くホームズに振り回されっぱなしの医者ワトソン。今読んでも文句なくおもしろい作品です。この詳注版は、上下二段組みになっていて、上が本文、下が注になっています。初めて読むときは上の段のストーリーを追って読み、二回目以降に下の解説も味わいながら読むといいかもしれません。ホームズの言葉は色々なところから引用されているので、注と一緒に読むと作品についての理解が深まります。本を読んでも面白いと思った方は、本館に入っているDVDもどうぞ。



「謎解きはディナーのあとで」

東川篤也

所蔵館：本館
請求記号：913.6 / H55 / 1-2

2011年の本屋大賞を受賞し、同年テレビドラマ化もされました。令嬢刑事の麗子と有能執事の影山が難事件を解決していきます。宝生家に勤め始めて一カ月で、お嬢様に対して「失礼ながら」と前置きしながら「アホでいらっしゃいますか」と言い放つ影山の毒舌ぶりに思わず笑ってしまいます。麗子と影山のテンポの良い掛け合い、謎解き、いろんな要素で楽しめる娯楽小説です。2巻目も本館に所蔵しています。



「羊たちの沈黙」

トマス・ハリス

所蔵館：両館所蔵
請求記号：A933.5 / H33

大柄な女性ばかりを狙う連続殺人犯「バッファロー・ビル」、その次の標的としてマーティン上院議員の娘が拉致されます。彼女の命が失われるまでのタイムリミットが迫る中、FBI訓練生のクラリス・スターリングは、9人も人間を殺して収監されている元精神科医レクター博士から「自らの秘められた過去を語ることを代償に捜査に助ける助けを受け、次第に犯人を追いつめていきます。息詰まるような心理的な駆け引きが魅力。「レッド・ドラゴン」「ハンニバル」という関連作品が本館にあります。



「そして誰もいなくなった」

アガサ・クリスティ

所蔵館：両館所蔵
請求記号：933.9 / C58

様々な名目で孤島に呼び寄せられ、人形とともに1人ずつ消えていく客人達。彼らを追い詰める「U. N. オーエン」とは何者なのか？ エピローグまで読了すると、鮮やかな結末にハッとすることまちがいない。「ミステリの女王」と呼ばれたアガサ・クリスティは数々の作品を遺していますが、この作品は今でも世界中のミステリファンに愛される名作です。

■ 編集後記 ■

83号の巻頭言は、「出会い」と題して喜田敦学長、「心理学をたのしむ」と題して青木直子先生から、そして企画展示に参加した学生よりご寄稿いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

試験も講義も終わり卒業式が近くなった頃、4年生が図書館のカウンターにやってきました。卒論の資料集めなど、何度も相談にきていた学生が、感謝のことばを伝えたいというのです。感慨深いものがあります。図書館員にとって利用者の求めに応じた資料を探す過程は本、人との「出会い」です。

今年も4月から、どんな新しい「出会い」があるのか楽しみにします。

(N)



図書館キャラクター「きしんさん」

ケータイから
本が探せます！



QRコード

藤女子大学 図書館だより 第83号 2012.3

発行者 藤女子大学図書館

札幌市北区北16条西2丁目

TEL 011-736-5407 FAX 011-709-4770
http://library.fujijoshi.ac.jp/